

令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」報告会のご案内

経済産業省（METI）は、「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」に関する令和4年度オンライン報告会を2月20日（月）、2月24日（金）に開催します。

経済産業省では、化学物質安全対策の一環として、特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）等に基づき、事業者における自主管理による化学物質管理を促進しているところです。化管法については、施行から約20年が経過する中、事業者の自主管理の進展等によって事業所からの環境への化学物質の排出量は減少傾向にあるものの、近年、排出量の減少幅は縮小してきています。化学物質を取り扱う多様な業種の事業者において、更なる自主管理が促進されるよう、現状分析等を踏まえ、課題解決に資する施策立案が重要となっています。

本事業は、化学物質管理施策における諸課題について、国際的な潮流を踏まえつつ、今後の制度のあり方や新たな施策の立案等に資する調査研究を実施するものです。本事業では公募の結果、4件の調査研究案件を採択しました。

本事業で採択した調査研究案件について、令和5年2月20日、2月24日の2日間、報告会を開催いたします。報告会では、各案件の実施者に調査研究の成果や今後の課題などを発表いただく予定です。

<報告会概要>

日時	第一部 2023年2月20日（月） 13時00分～15時05分 第二部 2023年2月24日（金） 14時00分～16時05分
場所	会議形式 オンライン ※Microsoft社のTeamsを使用予定です。
主催	経済産業省（METI）
参加費	無料

<第1部プログラム> 2月20日(月)

13:00-13:05	開会 METI 製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室
13:05-14:00	「酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 秦寛夫主任研究員
14:00-14:05	予備時間
14:05-15:00	「消費者製品に含まれる化学物質の経皮曝露を含めた包括的リスク評価スキームの構築」 静岡県公立大学法人 徳村雅弘助教
	※各報告時間には質疑応答(10分程度)を含みます。
15:00-15:05	閉会 METI 製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室

<第2部プログラム> 2月24日(金)

14:00-14:05	開会 METI 製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室
14:05-15:00	「経口暴露による魚類の化学物質蓄積性と経鰓暴露との関連性」 国立大学法人鹿児島大学 國師恵美子助教
15:00-15:05	予備時間
15:05-16:00	「ライフサイクルアセスメントの視点に基づく化学物質管理のあり方」 国立大学法人大阪大学 伊藤理彩助教
	※各報告時間には質疑応答(10分程度)を含みます。
16:00-16:05	閉会 METI 製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室

<申込み方法・問合せ先等>

申込み方法	<p>参加希望者リストに必要事項を記載の上、電子メールで参加申し込みをしてください。</p> <p>なお、参加希望者多数の場合、抽選とさせていただく場合がございます。</p> <p>申込先：E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti.go.jp</p> <p>申込期限：2023年2月13日（月）</p>
問合せ先	<p>【本件に関する問合せ先】</p> <p>経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質リスク評価室 清水、何本</p> <p>E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti.go.jp</p> <p>※電子メールでのお問い合わせをお願いします。</p>